

社会資本総合整備計画

(第3回変更)

平成31年1月22日

石 川 県 白 山 市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成31年 1月11日

計画の名称	5 霊峰白山から日本海に至る白山市の自然・文化・伝統・歴史を繋いだまちづくり							変更回数	1	重点配分対象の該当																							
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)			交付対象	石川県、白山市																												
計画の目標	<p>白山市は、県都金沢市の南西部に位置し、平成17年に1市2町5村の合併により誕生した。霊峰白山から手取川扇状地を経て日本海に至り、豊かな自然を有する山間地や田園、市街地などの多種多様な土地利用が存在する市である。広大な市域は、国道8号・157号や北陸自動車道(白山IC・美川IC・徳光スマートIC)、J北陸本線(松任駅・加賀笠間駅・美川駅・小舞子駅)、北陸鉄道石川線といった高速交通体系へのアクセスが容易で、交通利便性の高い環境にあり、行政等の公共施設が集約する『平野部』と、霊峰白山の麓に広がる自然環境や多くの観光施設を有している『白山ろく地域』に大別される。平野部では就業先の不足により、市域内就業率は年々減少傾向にあり、県内市の下位であることから、人口の流出が懸念されている。白山ろく地域では、少子高齢化・観光客の減少および市内就業先の不足による人口の流出が起因となり地域活力の低下が問題となっている。</p> <p>また、白山市では合併後策定された「白山市行財政改革大綱」に基づき公共施設の統廃合による合理化を進めており、公的施設跡地については、地域コミュニティ形成等の場として利活用を進め、都市機能集約化に努めている。その施策の一つとして合併当初は旧松任市に本庁、旧2町5村に7支所を配置する「総合支所方式」により行政サービスを提供してきたが、平成28年度までに「本庁方式(本庁のみ)」への移行が予定されている。白山ろく地域では役所機能の本庁集約転移や公共施設統廃合により、住民同士のつながりが希薄となり、古くから培われてきた各地域の伝統・文化等の地場産業の衰退が懸念されている。</p> <p>これらのことから、平野部においては、無秩序な開発を抑制し、適正な土地利用誘導を目的に、交通利便性の高いIC周辺・鉄道駅周辺での土地区画整理事業により、下水道をはじめとするライフラインの整備と併せ住宅地・工業団地・観光誘客施設を集約整備することで、職住近接の雇用機会の拡大が図られ、就業率および人口の流出防止かつ交流人口の拡大が促進される。同時に、白山ICから広域幹線(平成24年4月全線供用開始)で結ばれた白山ろく地域においては、既存資源に磨きをかけることで平野部からの交流人口を誘導し、白山ろく地域の居住者が平野部で就業先を確保することにより、人口流出を抑制し地域活力の維持が図られる。広域合併した一体の都市として、地域特性に応じたまちづくり方針ではあるが、都市機能拡散防止を図りながら、既存の交通体系を活用して特徴ある各地域の多様性を繋ぎ、市全域への人の流れを創出することで、活力あるまちづくりを目指すものである。</p> <p>具体的には、市の玄関口である白山IC周辺において土地区画整理事業を実施し、県内最大規模の史跡公園の整備・既存工業団地の拡張および観光誘客施設を立地する。また、平成27年北陸新幹線金沢開業に併せて整備された白山総合車両所(新幹線車両基地)およびJR松任駅に隣接するJR西日本金沢総合車両所(在来線車両基地)の二つの車両基地を本市の新たな観光拠点に位置づけ、白山総合車両所隣接地で計画されるJR在来線新駅整備実現のため、土地区画整理事業の実施により新駅へのアクセス道路および駅前広場を整備する。二つの車両基地を在来線で連携させることにより、全国各地からの鉄道愛好者等の誘客が期待される。</p> <p>さらに、全国三千余社の白山神社の総本宮であり年間70万人の参拝客が訪れる白山ひめ神社を有する鶴来地区や、平成24年7月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された白峰地区へ、白山ICから繋がる広域幹線により来訪者を誘導する。加えて、金沢と本市をつなぐ北陸鉄道石川線はサイクルトレインでもあり、その終着駅である鶴来地区周辺をサイクリングをテーマに再整備すると共に、キャンオンロード(自転車道)の活用により来訪者を鶴来地区や白山ろく地域へ誘導し、交流人口の拡大を目指すものである。</p>																																
計画の成果目標(定量的指標)	<p>地域特性に応じたまちづくりにより、広域合併した一体の都市として都市機能拡散防止を図りながら、既存の交通体系を活用して特徴ある各地域の多様性を繋ぎ、市全域への人の流れを創出することで、活力あるまちづくりを目指す。</p>																																
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入り込み客数の増加 白山市における観光入り込み客数</td> <td>5,291,520人/年</td> <td>5,324,000人/年</td> <td>5,356,000人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>白山市内の雇用機会の拡大 白山市内の事業所における就業者数</td> <td>52,112人 (H24経済センサ)</td> <td>52,200人</td> <td>53,800人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下水道整備率の向上 新たに市街化される区域の下水道整備率</td> <td>0%</td> <td>60%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	観光入り込み客数の増加 白山市における観光入り込み客数	5,291,520人/年	5,324,000人/年	5,356,000人/年		白山市内の雇用機会の拡大 白山市内の事業所における就業者数	52,112人 (H24経済センサ)	52,200人	53,800人		下水道整備率の向上 新たに市街化される区域の下水道整備率	0%	60%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																														
観光入り込み客数の増加 白山市における観光入り込み客数	5,291,520人/年	5,324,000人/年	5,356,000人/年																														
白山市内の雇用機会の拡大 白山市内の事業所における就業者数	52,112人 (H24経済センサ)	52,200人	53,800人																														
下水道整備率の向上 新たに市街化される区域の下水道整備率	0%	60%	100%																														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,419百万円	A	2,419百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																					
交付対象事業																																	
A 基幹事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																
A1	街路	一般	石川県	間接	土地区画整理組合	白山市松任北安田南部地区	区画整理 A=13.7ha	白山市	H27	H28	H29	H30	H31	860																			
A2	下水道	一般	白山市	直接	白山市	北安田汚水幹線外	φ=200mm L=3.3km	白山市						159																			
A3	街路	一般	石川県	間接	土地区画整理組合	白山市横江町地区	区画整理 A=48.4ha	白山市						500			他Pへ移行																
A4	下水道	一般	白山市	直接	白山市	横江汚水幹線外	φ=200mm L=2.2km	白山市						105																			
A5	都市再生	一般	白山市	直接	白山市	鶴来地区	A=267.8ha	白山市						474																			
A6	都市再生	一般	白山市	直接	白山市	白峰地区	A=21.7ha	白山市						321																			
													合計	2,419																			
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																
									H27	H28	H29	H30	H31	0																			
									合計					0																			
C 効果促進事業(該当なし)																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
									H27	H28	H29	H30	H31	0																			
									合計					0																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
									H27	H28	H29	H30	H31	0																			
									合計					0																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考																	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	103.5	468.7	150.0		
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0		
交付額 (c=a+b)	103.5	468.7	150.0		
前年度からの繰越額 (d)	0.0	92.4	118.5		
支払済額 (e)	11.1	316.3	170.9		
翌年度繰越額 (f)	92.4	244.8	97.6		
うち未契約繰越額 (g)	66.0	53.2	15.4		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	63.7%	9.5%	5.7%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	関係機関協議に不測の日数を要し、事業認可が遅れたため。				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

市街地整備

